



【9月以降の活動予定他】

◎ブドウ狩り

日時：9月1日（日）13:00～15:00、
場所：山川ぶどう園

◎俳句・書道ワークショップ

日時：9月15日（日）13:30～15:30
場所：文化研修センター

◎浴衣・着物着付け体験

日時：10月6日（日）
場所：文化研修センター 和室

◎観月茶会

日時：10月20日（日） 場所：検討中

◎バスツアー

日時：11月17日（日） 行先：検討中

◆スペイン・サンチアゴ巡礼 800kmの歩き旅

長島 一博

7月25日から31日の1週間のパネル展示、27日の講演には、スペインに興味のある人が多いのか、たくさんの方が参加されました。なかには歩く決意



パネル写真展 (7/25～7/31) 来場者 156

をした方もおられたほどです。この道は世界中から年間30万人以上が歩くほど有名ですが、日本ではまだ認知度は低いです。現在では巡礼という宗教的要素より、そこまでたどりつく道程で何かを感じたり、自分を見つめ直したりすることなどが共感を呼び、歩く人がますます増えています。

パネル展では広大なスペインの自然、建物などの美しい景色が展示され、講演では実際の宿泊施設、食べ物、色々な国の人とのふれあいについて話があり、まさに旅をした気分になりました。宿泊施設の整備や歩く人への安全対策など、四国遍路の参考になることも多いと思いました。最後に、サンチアゴ巡礼の道を多くの人に知ってもらい、このような経験をしてほしいと締めくくられました。



講演会 7月27日（土）参加者 50人

◆鴨島阿波踊りに YIA が参加

萩森 健治

今年も8月16日に一夜のみの「鴨島阿波おどり」が鴨島駅前の中央通りで開催されました。YIA は国際交流連を編



成し、市役所連、FC 徳島連などのメンバーと合同で参加し、100人以上の多人数で踊りのトップをきって中央通りに踊り込みました。合同連には、原井市長、岡田副市長、教育長の皆さんも参加。中央通りに多くの見物客が集まり、踊りを応援してくれました。

我が国際交流連は、外国人実習生や特定技能の参加者が16人、パキスタン家族2人、三味線の鳴り物が7人、YIA 理事などのスタッフ10人、合計35人が参加しました。ミャンマー、カンボジア、インドネシア、ベトナム出身の若い女性が参加し、踊るのは初めてとは思えないほど華やかで清潔感のある踊りを披露してくれました。

YIA メンバーは16時に文化研修センターに集合、着替えてから岡田さんの指導で稽古。阿波踊りは初めての挑戦でしたが、10分間の稽古でなんとかさまになり



ました。集合写真撮影、水分補給後、駅前中央通りに移動。17時半に中央通り南側をスタートし、駅前まで約15分間の踊りを楽しみ、駅前広場で輪になって踊りました。文化研修センターに戻り、着替えをして19時ころに解散しました。

◆元鴨島町 ALT のヘルミニアさんが帰郷

瀬尾規子

元鴨島町 ALT のヘルミニアさんが8月にアメリカ・メリ



ランドから18年ぶりに鴨島に帰郷されました。後藤田さんのコーディネートで8月12日にジョイフルに集まり、ヘルミニアさんと交流しました。ヘルミニアさんは鴨島町内の7つの小学校で英語を指導していました。とても熱心で人気のある先生でした。上浦小学校が閉校したことを知って残念がっていました。ヘルミニアさんに感想を寄せてもらいました。

Thank you so much for your time today. It feels like yesterday when I was still working as an ALT. I always cherish the people and memories during my time as the ALT for seven Elementary school. It's sad to hear that Kamiura Elementary School had closed. I enjoyed the conversation and of course the food. Thank you once again for everything. Gotoda sensei, I appreciate the ride. Enjoy the rest of the summer and hope to see you all again next time 😊😊😊😊😊😊

◆第二回川島高校 Summer Challenge 授業

羽山 知恵子

YIA は、活動を通じて互いに出会い、互いの国情、文化、歴史にふれ合う交流を行っています。その一環として外国人と高校生の若い世代との交流を昨年新しくスタートし、今年2回目として8月19日に川島高校で開催しました。今回の講師は、パキスタン出身の Aziz さんご一家でした。高校生15名、先生2名、YIA から6名が参加し、田村副会長の司会であたたかい交流となりました。

タルファさん、アリーバさん、ズレハさんが、パキスタンの歴史、文化、イスラム教、政治経済や日常性、パキスタン料理（チキンカラヒやニハリはミートと野菜のスパイシーな煮込み料理）などについて、パワーポイントで丁寧に説明しました。

ご一家は日本での経験の中で共有する価値観を通じ

て平和と相互理解を希求し、“Beyond borders”（境界を越えて）の思いが高校生達に伝わったことでしょう。

次に萩森副会長が、在住外国人の状況やYIA活動を説明しました。その後、生徒らは4つのグループに分かれ、タルファさん達が各テーブル



に参加し、日本の印象や将来の夢を始め数々の対話が積極的になされ頼もしいことでした。英語で生き生きと質問する高校生達！未来に輝く若人にとってパキスタンが身近に感じられた豊かな Summer Challenge になったことでしょう！



◆新規会員の自己紹介

中矢 承次

始まりは、ふと手にした「国際交流よしのがわ(20号)」でした。その活動報告で、「日本語教室」を知りその見学をしたことです。以来、教室が、新たな出会いの場となり、少し世界に繋がっています。とても楽しみです。私も、お役に立てればと、思っています。よろしくお願いたします。



伊藤 知津留

仕事をしていた頃、国際交流協会の方々に何度もお世話になりました。時間ができた今、何かお手伝いできたらと、入会いたしました。毎週日曜日の日本語教室に参加させていただいています。言葉がうまく通じないもどかしさを感じながら、日本語の難しさを再発見しています。今まで知らなかった国の言葉や文化について教えていただき、日曜日が楽しみです。これからもよろしくお願いたします。

